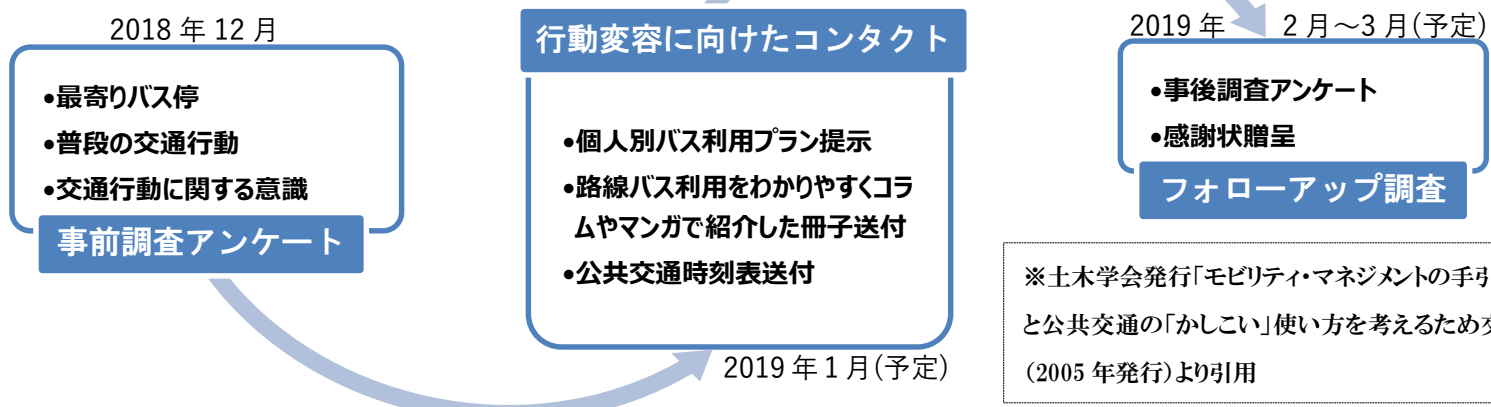


**古賀市経営企画課× 福工大上杉研究室
公共交通の課題改善へ向けた
モビリティ・マネジメントに協働で取り組んでいます！**

社会環境学科の上杉研究室では、現在、古賀市と連携してモビリティ・マネジメントに取り組んでいます。モビリティ・マネジメントとは、一人一人の移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向（すなわち、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通施策^{*}のことです。古賀市では、これまでも本学の学生企画を具現化した「バス乗っ得キャンペーン」などで公共交通の利用促進を図ってきましたが、今回はそれをさらに進めて一人でも多くの市民に公共交通機関の利用を働きかけていきます。

上杉研究室では地理学・都市計画学・空間情報学が融合したアプローチによる地域の社会環境に密着した教育研究を進めており、今回は、3年生のゼミナールの活動として古賀市の行政課題に取り組むこととなりました。10月から古賀市との打ち合わせを重ね、市民を対象とした事前調査アンケート200通の発送まで完了しています。今後は、アンケートに回答して下さった方々へバス利用の提案等コミュニケーションを図っていきます。古賀市内の公共交通利用が増えれば、高齢者の移動手段の確保、市街地活性化、環境負荷軽減、健康促進といった効果が期待されます。今後の上杉研究室によるモビリティ・マネジメントの展開にご注目ください！
(社会環境学科、大学・地域連携推進室)

実施イメージ



※土木学会発行「モビリティ・マネジメントの手引き-自動車と公共交通の「かしこい」使い方を考えるため交通施策-」(2005年発行)より引用



事前調査アンケートを検討する古賀市経営企画課業務主査の中田氏(左列手前)、上杉助教(左列奥)、上杉研究室3年生(右側)。目標は回収率50%です！



打ち合わせの場で内容を修正していききました。アンケート対象者の方が少しでも回答しやすいよう、設問はもちろん用紙のサイズや紙質まで検討しました。

掲示期間 H-30-231
12月19日～1月18日

この件のお問い合わせは広報課へ